

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 5. 15

下水道機構の『新技術情報』 第283号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

昨日、家の窓を開けていると「カッコウ」の鳴き声が聞こえました！こんな近くにいるんだ！と調べてみました。カッコウは渡り鳥で5月中旬に南方から渡来して7月末頃までの間、卵を産みますが、自分では子育てをせず他の鳥の巣に卵を産み、育てさせる。これを托卵というそうです。我が家の木に託したのかな？そういえば去年は庭木の下に卵が落ちていました。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第283号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・5月の技術サロンは、横浜市環境創造局下水道計画調整部下水道事業マネジメント課長 遠藤賢也氏をお迎えして開催しました
- ・人事異動情報

■機構の動き

- ・今週は、行事はありません

■Tea Break

- ・うどん（資源循環研究部 ペンネーム：O&Mさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回のゆいまーるは、マンホールで巡る台湾周遊の旅をお届けします

■国からの情報

- ・5/12付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション （最新の話です）

。○。○。

●5月の技術サロンは、横浜市環境創造局下水道計画調整部下水道事業マネジメント課

長 遠藤賢也氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは「横浜下水道の今後の取組について」でした。遠藤氏は平成4年に横浜市へ入庁され、環境創造局にて下水道事業調整、管路整備、下水道政策調整、下水道施設維持管理業務等の業務に携われたのち、平成28年に現職の下水道計画調整部下水道事業マネジメント課長に着任されご活躍されています。

講演内容は、はじめに横浜市下水道における現在の中期計画概要と今後の予算や人材確保など下水道事業が抱える様々な課題についてご講演いただきました。今年度、こうした課題を踏まえ、おおよそ30年先を見据えた長期ビジョンの構想を検討しているとのことでした。浸水対策については、これまでの施設整備の降雨水準を、官民連携により大幅にグレードアップして推進している革新的な事業“エキサイトよこはま22”を紹介していただき、さらにこれからの浸水対策については、これまでの事後対策的浸水対策から予測対応型浸水対策へのシフトを構想中とのことでした。

また、処理場施設の長期構想として、節水型家電の普及や人口減少による今後の流入水量減少を予測するとともに、将来の社会環境の変化を見据えた再構築方針を検討しているとのことでした。

本日ご講演していただいた内容は、いずれも大都市横浜の抱える課題としっかり向き合い、画期的な発想による取り組みについてであり、非常に参考になる興味深いご講演でした。

さて、次回のサロンは、6月8日（木）16:00から17:00での開催となります。ゲストは国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部下水道研究室長 岩崎宏和氏をお迎えして、「平成28年熊本地震における管路施設被害の特徴と管路ストックマネジメント導入支援について」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！4月、5月とも早々に定員に達しております。お申し込みは機構ホームページからお早めに。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●人事異動情報

4/17 付人事異動

【転入】※（ ）内は、前職

技術評価部 主任審査調査員 大西秀典 ((株)アスコ大東)

5/1 付け人事異動

【転出】※（ ）内は、転出先

研究第一部 総括主任研究員 中野善彰 ((株)ニュージェック)

研究第二部 研究員 亀田 瞬(管清工業(株))

技術評価部 主任審査調査員 早川樹男(オリジナル設計(株))

【転入】※（ ）内は、前職

研究第一部 総括主任研究員 立木康和 ((株)ニュージェック)

研究第二部 研究員 佐々木基喜 (管清工業(株))

【採用】※（ ）内は、前職

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

●行 事 : 第 360 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

日 時 : 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 16:00~17:00

ゲスト : 国土交通省国土技術政策総合研究所

下水道研究部下水道研究室長 岩崎宏和 氏

テーマ : 『平成 28 年熊本地震における管路施設被害の特徴と管路ストックマネジメント導入支援について』

※お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●うどん (資源循環研究部 ペンネーム : O&Mさんからの投稿です)

最近、埼玉県飯能市や群馬県館林市に行く機会があり、どうもうどん屋さんが多いことに気付きました。私は埼玉県新座市に在住ですが、近隣市では「武蔵野うどん」の看板をよく見ます。また、埼玉県北部にドライブに行くとやはりうどん屋は多いです。全く知らなかったのですが、埼玉、群馬ともうどんの生産量は全国でも上位であり、特に埼玉はうどんの生産量は全国 2 位とのことでした。

うどん王国香川県には負けますが、「加須うどん」、「熊谷うどん」、「川幅うどん」、「煮ぼうとう」、「すったて」などが様々なバリエーションがあるようです。また、群馬県では「桐生うどん」「館林うどん」「水沢うどん」などがあります。関東在住ですと香川県はなかなか行く機会が少ないかもしれません。まずは比較的近場の埼玉県や群馬県でうどん屋巡りを楽しむのも良いかと思います。

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●今回のゆいまーるは、マンホールで巡る台湾周遊の旅をお届けします

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-5-15>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2017. 5. 12 付 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

GWも終わり、東京もだいぶ気温があがってきました。今月 1 日からは、国交省でもクールビズがスタート。今週は冷房の試運転が始まるなど、夏に向けた準備が始まりました。気温の変化、さらに五月病も心配される時期。体調など崩されませんよう。

今週、5月10日(水)に財務省の財政制度等審議会財政制度分科会が開催されました。下水道についても、生産性向上に向けた中長期的な課題の中で、「受益者負担の原則の徹底と民間活用の推進」として、議題の一つにあげられ、国費等の支援について記載がなされています。関係者の皆様には、動向に関心を持っていただければと思います。

http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/index.html

(資料3、p15～17)

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○国際水協会 (IWA) のHPで日本のマンホールが紹介されました
(下水道広報プラットフォーム)

○国際シンポジウム「水環境の微生物学的安全性に関する研究の動向」を開催します！
(日本水環境学会 水中健康微生物研究委員会)

=====

○国際水協会 (IWA) のHPで日本のマンホールが紹介されました
(下水道広報プラットフォーム)

<http://www.iwa-network.org/blog/>

国連・持続可能な開発目標 (SDGs) の水・衛生分野の達成に向けて世界が取り組む中で、国際的に市民とのコミュニケーション・連携が重要な課題となっています。

今回掲載された IWA のレポートでは、市民連携の優良事例として日本のデザインマンホール、マンホールカードやマンホールサミットなどの「マンホールブーム」、下水道広報プラットフォーム (GKP) の取組みが紹介されました。2018 年 9 月に東京で開かれる IWA 世界会議に向けて、国際的に日本の下水道への関心が高まります。

レポートでは、マンホールカードの英語版の作成が紹介されたことに加え、2018 年

の会議参加者に”マンホールハント”を呼び掛けています。

今後、日本のマンホール文化に対する国際的な関心の高まりも期待されます。

○国際シンポジウム「水環境の微生物学的安全性に関する研究の動向」を開催します！

(日本水環境学会 水中健康微生物研究委員会)

5/31に東京で、国際シンポジウム

「Recent progress in microbial safety in water environment

～水環境の微生物学的安全性に関する研究の動向～」を開催します。

同時通訳つきで、参加無料ですので、皆さま、是非ご参加ください。

【日時】13:30 - 17:00 (13時開場) 東京大学本郷キャンパス

【場所】東京大学 福武ホール 地下2階 福武ラーニングシアター

<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>

【プログラム】(同時通訳あり、内容は変更になる場合があります)

13:30 開会の挨拶 (片山浩之 日越大学/東京大学)

13:40 Progress on Quantitative Microbial Risk Assessment Mark H. Weir

14:20 Progress on Microbial Source Tracking Anicet R. Blanch

15:00 - 15:15 休憩

15:15 水環境における新規ウイルス指標に向けて

片山浩之 (日越大学/東京大学大学院工学系研究科)

15:30 琵琶湖南湖でレクリエーションはどの程度可能か？

田中宏明 (京都大学大学院工学研究科)

15:45 微生物遺伝子マーカーを活用した河川水中の糞便汚染源解析

原本英司 (山梨大学大学院総合研究部)

16:00 血液型決定抗原陽性大腸菌のノロウイルス指標性

佐野大輔 (東北大学大学院工学研究科)

16:15 総合討論

16:45 閉会の挨拶 (田中宏明 京都大学)

以下のURLからパンフレットダウンロードできます。

<http://www.jswe.or.jp/calendar/pdf/20170531Sym-HRWM.pdf>

=====

【参考情報】

◆海水と下水で「世界初」のCO₂フリー水素製造、しょうゆ生産の技術を応用

<5/11 スマートジャパン>

https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170511-00000009-biz_it_sj-bus_all

◆調布・多摩川に今年もアユが遡上 続々と川上り跳ねる姿、多摩川再生の象徴に／東京

<5/1 みんなの経済新聞ネットワーク>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170501-00000012-minkei-113>

◆水戸市が洪水マップを改定 避難所明示、7月配布へ <5/11 茨城新聞>

http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=14944197114336

◆戦艦「大和」、マンホールに フタ協会が寄贈 広島 <5/11 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/articles/ASK4W3VPJK4WPITB007.html>

◆とまチョップのマンホールカード 1カ月で1200枚配布<5/10 苫小牧民報社>

<http://www.tomamin.co.jp/20170550370>

◆下水を塩素殺菌し川に放す 環境への影響に懸念、訴訟起こす声も

<5/1 ニューヨークタイムズ>

<https://www.dailysunny.com/2017/05/03/news0503-2/>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
